

2013年8月19日

これまでご支援を頂いた皆様へ

東日本大震災小児医療復興新生事務局 代表幹事（岩手担当）

高橋 幸代

菅原 奈美（宮城）、本多 由美子（福島）

日本小児救急医学会 災害医療委員会 東日本大震災継続支援ワーキンググループ

齊藤 修、伊藤 正樹、瀧向 透

アンケートのお願い

残暑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃、東日本大震災小児医療復興新生事務局の活動にご理解を賜り、誠にありがとうございます。皆様のお力添えによりまして、事務局開設から半年が経過し、実に40名以上の方々のご支援を頂戴することが出来ました。日本小児救急医学会、小児科学会と共に、被災3県の力をあわせ、今後とも皆様のご厚意を少しでも多くの被災地域の子どもたちに還元できるよう現地医療機関との架け橋となる所存です。

さて、早速ではございますが、今回は、アンケートのお願いでご連絡をいたしました。

お伺いしたい内容は、本事務局の今後の事業内容に関するご意見です。主題となるものは、「震災医療から地域医療へ」の一言に表されます。現地でご診療頂いた多くの皆様から、被災地が復興、地域医療の再生に向う様子を肌で感じたというご意見を頂戴する一方、震災以前から存在していた、いわゆる過疎、へき地医療の一端を垣間見たというご意見も頂戴しております。本事務局といたしましても、地域医療の再生のみならず「新生」を視野に入れた事業内容を目指す所存ですが、そのためには今後、震災医療から地域医療をも包括したものへ事業内容を移行する必要を感じております。このような状況について本事業にお力添えを頂いた皆様の忌憚ないご意見を頂戴いたしたくご連絡した次第です。大変お忙しいところとは存じますが、別添のアンケートにご回答頂ければ幸甚です。

敬具